

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し(間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く	

発展メニュー (☆☆☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く	

担当より一言

今回は膨張と収縮について学びました。

膨張はものの体積が大きくなること、収縮は逆に小さくなることです。

一番重要なことは、ものの体積は基本的に温度が高くなると膨張し、低くなると収縮するということです。この考え方は必ずおさえましょう。

金属球膨張試験器の実験では、上記の性質を理解しておけば、玉が輪に通るようにする、通れないようにする方法の説明を理解するのはさほど難しくないとします。

膨張のしやすさはものによって変わります。ものが膨張する割合のことを膨張率といいます。特にアルミニウム、銅、鉄の金属の膨張率はこの順番で大きいことは覚えておきましょう。

異なる2つの金属をはり合わせたものをバイメタルといいます。膨張率の違いによってバイメタルがまがったりすることをうまく利用した製品があることは知っておきましょう。

※G模試の範囲は、第26回～第29回内容となります。

社会**基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。**

	チェック
① 宿題用テキストで、「授業中に扱った演習問題」の復習用を解き直す	
② 宿題用テキストの基本問題 A・B を解く	
③ 週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題 A を解く	
② 宿題用テキストで、「授業中に扱っていない演習問題」を解く	

発展メニュー（☆☆☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題 B を解く	

担当より一言

今回は、「資料の読み取り演習」を行いました。

大学入試改革を受けて、中学入試でも問題傾向に変化が生まれました。テキスト等の知識の暗記のみならず、与えられた資料を利用してその場で思考する問題が増えているのです。今回扱った問題も、そのような問題になります。授業では、一つ一つの資料や選択肢を読み込み、正解を導き出す方法を学びました。

具体的には、グラフや表に関する選択肢の問題を解くときは、知識や直感に頼らず、一つひとつの選択肢と、グラフや表をじっくり見比べて、正解を探していきます。解きながら、グラフや表に印やメモをかきこむのもよいでしょう。基本的には、選択肢のどこが誤りかを見つけることがポイントです。こういった問題では、「示された資料からはわからない」という誤りの選択肢もあるので、これも知っておきましょう。

今後、さまざまな場面で、資料を読み取る時に使ってほしい力です。

※G模試の範囲は、第26回～第29回内容となります。